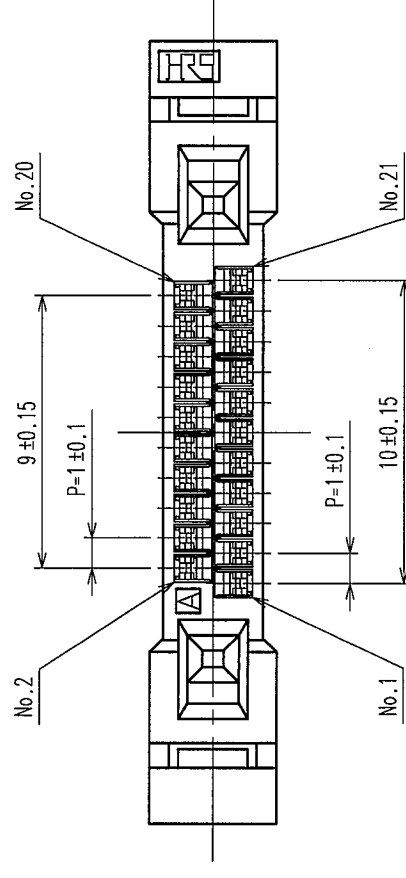
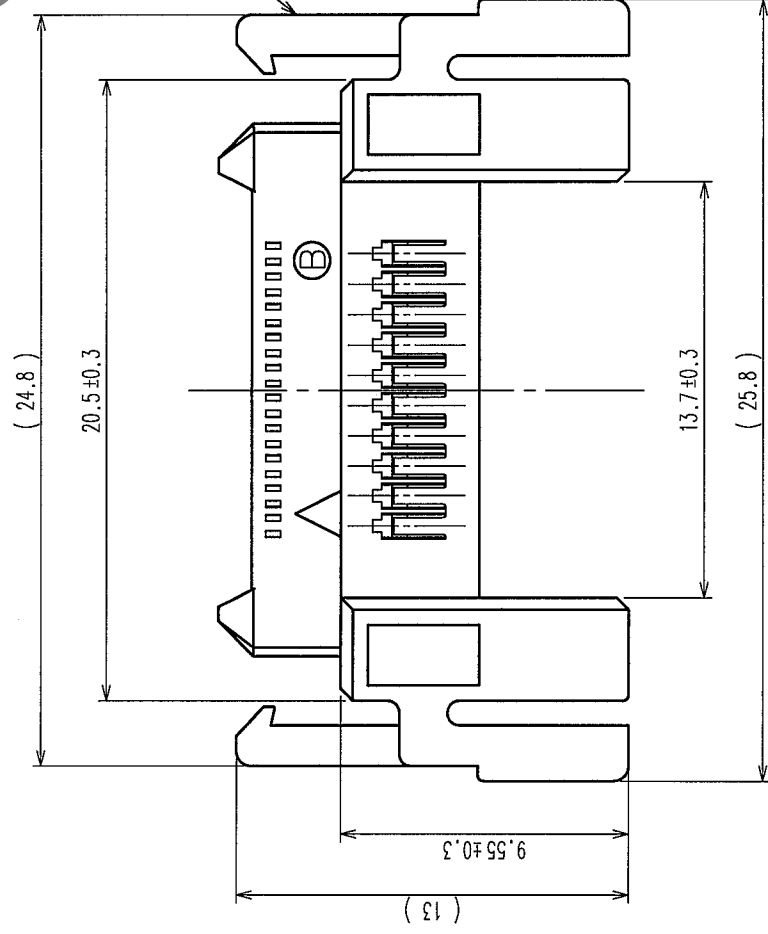
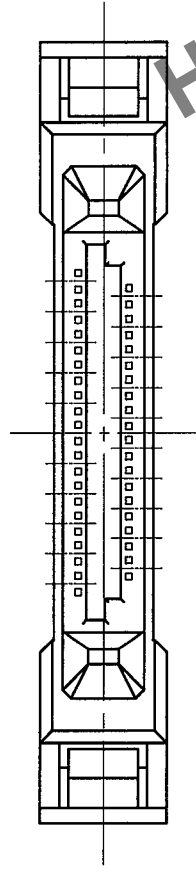


△の数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計検図 BY CHKD	年月日 DATE	△の数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計検図 BY CHKD	年月日 DATE
△			・	△			・
△			・	△			・
△			・	△			・



注 1 ()内は参考寸法を示します。
2 本製品は袋詰め梱包です。

[illegible]

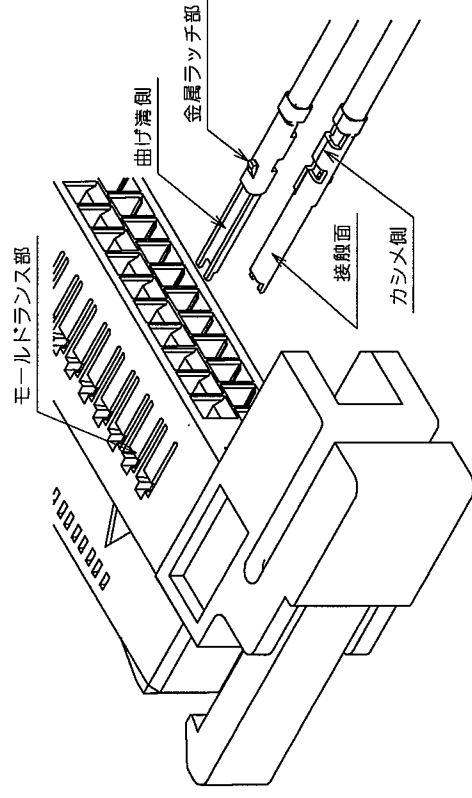
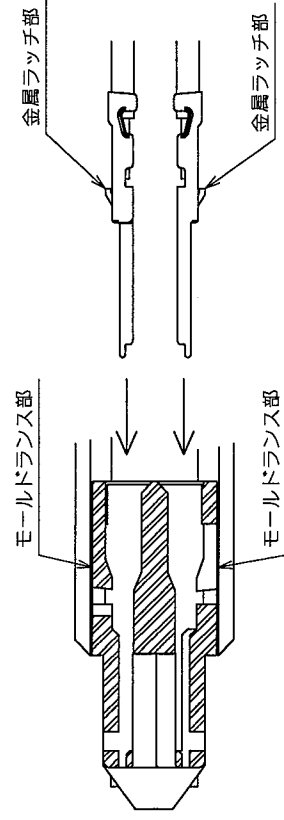
本コネクタは取り扱いについて注意が必要です。以下の内容をご確認の上ご使用下さい。

ハーネス作業時のご注意

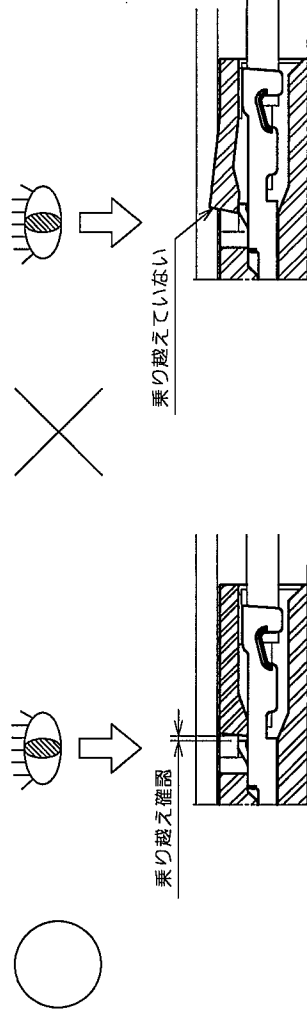
- ◆結線条件について
- ハーネス作業を始める前に、以下の作業関係書類が必要となります。
- 下記書類が揃っていない場合は、弊社営業または代理店へご要求下さい。
- ① 圧着作業基本要項（結線関係の一般説明）
 - ② 端子圧着結線機械取扱い説明書（プレス機本体の説明）
 - ③ アプリ部品取付け表（アプリケーター取り付け説明）
 - ④ 圧着条件表（グリーンブライトノ引張強度規格値）
 - ⑤ 圧着品質基準書（ベルマウス寸法／ベントアップ・ダウン／ローリング／他）

ハーネス作業は上記書類に基づき正しく行って下さい。

- ◆ 圧着端子の挿入について
圧着端子の挿入は下図の様にモールドランスと金属ラッチの向きを合わせて行って貰ってください。挿入して下さい。異なる向きで挿入すると、挿入ができません。場合によっては、圧着端子を変形させたり、ケースを破損させる恐れがありますのでご注意ください。



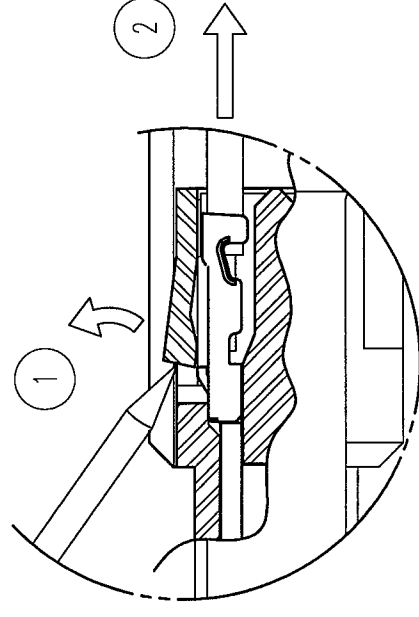
- ◆圧着端子の挿入確認について
正しく圧着端子が挿入されているかは、モールドランス窓口より覗き金属ラッチの位置にて確認して下さい。正しく挿入されている場合は、金属ラッチがきちんとモールドランスを乗り越えた位置にあります。



また、ケーブルを引張って確認を行う場合は、3N以下の軽い力で行ってください。

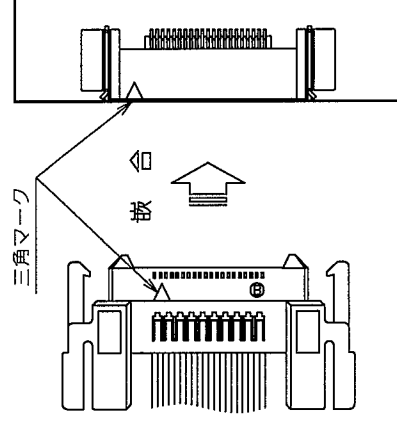
Δの数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計検図 BY CHKD	年月日 DATE	Δの数 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計検図 BY CHKD	年月日 DATE
△			・	△			・
△			・	△			・
△			・	△			・

- ◆ 圧着端子のリベアについて
一度挿入した圧着端子を抜く時は、先の尖った針などを使いモールドランスを持ち上げながらケーブルを引張って引き抜いて下さい。
リベアを行ったことでコネクタのランス強度が低下している可能性があります。
リベアを行ったコネクタは再利用せずに必ず新しいコネクタをご使用下さい。



基板側コネクタとの接続時の注意

- ◆基板側コネクタへの挿入について
本コネクタには嵌合に方向性があります。嵌合は、極性表示を下図の方向に向けて行って下さい。また、挿入は画側のロックが掛かるまで完全に行って下さい。



基板側：FX15M-21S-0.5SH

- 尚、本コネクタには逆挿入防止構造を施しておりますが、25N以上の力で無理に嵌合しおすとコネクタを破損させる恐れがあります。無理な嵌合は避け、上記警告表示を確認した上で行って下さい。

* 注意 「取り扱いのご注意」内に图示されているコネクタ形状は、説明用の図である為、現品と形状の相違がございます。コネクタ製品の形状につきましては、SHFF11:コネクタ図面にてご確認下さいませ。尚、お願い致します。

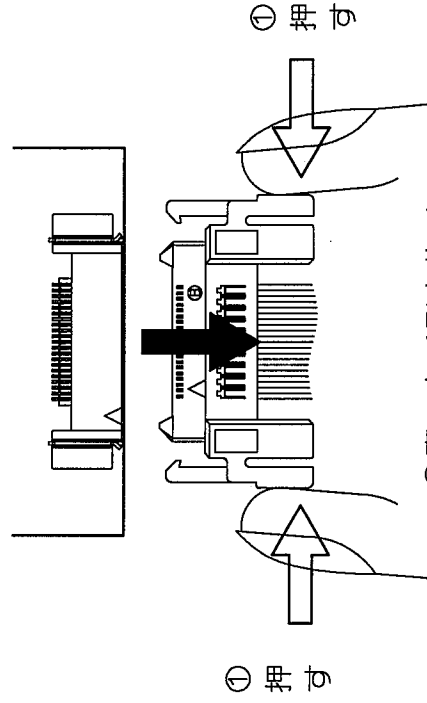
部番	材質	処	理	備	考	材	質	製	図	計	検	図	承認	出	考	
備考	REMARKS														図	考
取り扱いのご注意																
旧製品コード CODE NO. (OLD) CL	図番 DRAWING NO. ADC3-155943	図 尺 度 SCALE - : 1 単位 UNITS mm											製品名 PART NO. FX15M-21P-C			
												製品コード CODE NO. CL575-2109-4	2			

Δの數 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計檢圖 BY CHKD	年月日 DATE	Δの數 COUNT	訂正記事 DESCRIPTION OF REVISIONS	設計檢圖 BY CHKD	年月日 DATE
△			・	△			・
△			・	△			・
△			・	△			・

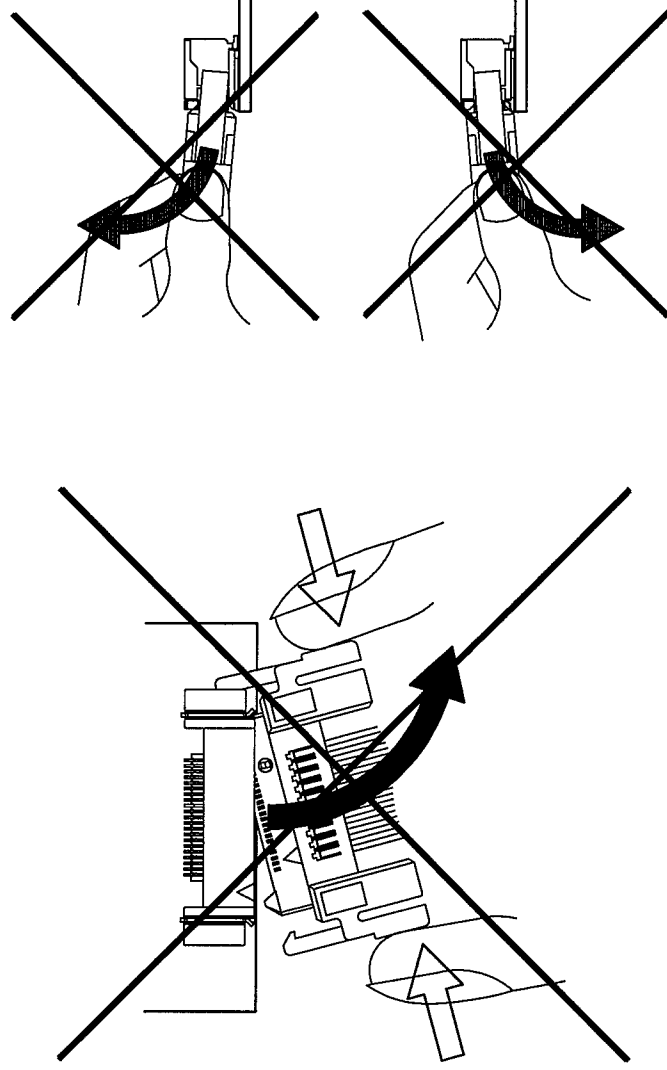
- ◆嵌合後の取り扱いについて
嵌合後はケーブルを引き回しの際にコネクタへ負荷が加わらない様にご配慮下さい。
特に特定のケーブルプルのみにて5N以上の負荷が加わると、ケーブル（圧着端子）が抜ける可能性があります。
また、ケーブル全体として20N以上の力で引張られるとコネクタが破損する場合があります。
くれぐれもケーブルを引張らない様にご注意下さい。

- ◆基板側コネクタからの抜去について
本コネクタは抜合時にロックが掛かる構造となっております。
コネクタを抜く時は、ロックを解除する為に向サイドを指で押しながら、そのまま直ぐ引き抜いて下さい。ケーブルを引張って抜くことはお止め下さい。
また、斜めにこじりながら抜くことも避けて下さい。コネクタを破壊させる恐れがあります。

<正しい抜去方法>



＜誤った抜去方法＞



* 注意 「取り扱いのご注意」内に図示されているコネクタ形状は、説明用の図である為、製品と形状の相違がございます。コネクタ製品の形状につきましては、SHEET1:コネクタ図面にてご確認下さいます様お願い致します。

部番	材質	処理	備考	部番	材質	処理	備考
REMARKS							
取り扱いのご注意							
旧製品コード CODE NO. (OLD) CL	 尺度 SCALE - : 1 単位 UNITS mm		図番 DRAWING NO. ADC3-155943		製品名 PART NO. FX15M-21P-C		
製品コード CL575-2109-4				製品コード CODE NO. CL575-2109-4			
				3			